

2025年（令和7年）

9月定例会

令和6年度決算審議	1
9月定例会審議結果	3
9月定例会一般質問 （町政をただす）	4
あれからどうなった？ （一般質問のその後は）	12
委員会の構成が決まる ...	13
議会の活動	14

石川町 議会 です

こんにちは

発行／石川町議会

編集／広報常任委員会

No. 228

令和7年
11月1日

水郡線で秋の遠足へ

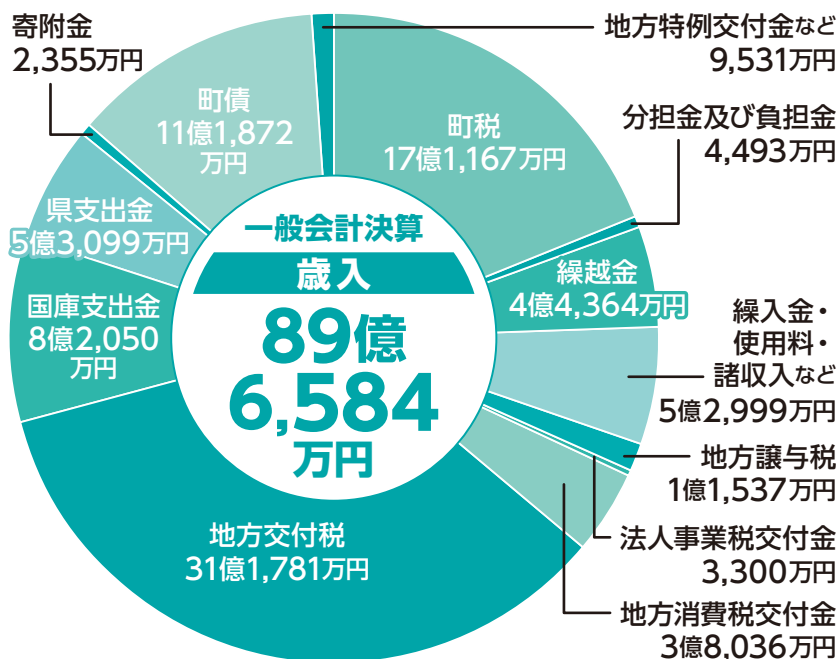
石川町議会
ホームページ



写真／石川文化幼稚園年長児のみなさん

はどう使われたのか

決算 審議



令和6年度 会計別決算審議

(万円未満は四捨五入)

会計別		歳 入	歳 出	歳入歳出差引額	採決	賛・反
一 般 会 計		89億6,584万円	86億4,355万円	3億2,229万円	認定	賛成多数
特別会計	国民健康保険	15億5,704万円	15億1,523万円	4,181万円	認定	全員賛成
	後期高齢者医療	2億2,242万円	2億1,296万円	946万円	認定	全員賛成
	介護保険	18億3,951万円	17億8,281万円	5,670万円	認定	全員賛成
	母畑財産区	1,832万円	20万円	1,812万円	認定	全員賛成
	中谷財産区	1,302万円	13万円	1,289万円	認定	全員賛成
	土地開発事業	1,863万円	425万円	1,438万円	認定	全員賛成
	宅地造成事業	1億36万円	1億36万円	0万円	認定	全員賛成
	水道事業会計	剰余金処分	消費税及び地方消費税を除く利益剰余金502万円は、建設改良積立金に積み立てる			可決及び認定
収益的収支		3億7,211万円	3億5,095万円	2,116万円		
資本的収支		9,484万円	1億8,726万円	△9,242万円		

(水道事業会計における、資本的収支の不足分は、当年度分消費税、地方消費税資本的収支調整額、地方公営企業法第26条の規定による繰越額及び現年度損益勘定留保資金で補てんした。)

令和7年9月定例会は、9月4日から9月17日までの14日間の会期で開催されました。

初めに、令和6年度健全化判断比率、資金不足比率、債権放棄の報告があり、一般会計・特別会計及び水道事業会計の決算を審議、そのほか条例の一部改正、決算認定及び補正予算などを審議し決定しました。

令和6年度主な事業

- ◆子ども・子育て支援給付事業
- ◆保育施設整備事業
- ◆道の駅整備事業
- ◆予防接種事業
- ◆中小企業支援事業
- ◆観光物産振興事業
- ◆生涯学習推進事業
- ◆生活交通対策事業
- ◆道路維持補修事業
- ◆橋りょう維持補修事業
- ◆空き家対策事業
- ◆住宅セーフティネット事業
- ◆自治センター施設改善事業

その他、さまざまな事業に使われました。

6年度 一般会計 特別会計

総額122億5,900万円

決算審査報告

代表監査委員

監査委員

郷 隆雄

【審査結果】

令和6年度決算審査

また、一般会計にお

は、7月24日から8月1日までの7日間で、水道事業会計、一般会計、特別会計及び各基金などを審査し、いずれも適正に処理されていることを確認しました。

また、一般会計にお

基盤を構築するととも

果的な徴収体制の構築

を求めます。

【審査意見】
一般会計の実質収支は黒字であり、財政指標も健全な水準を保っています。今後においても、安定した財政基盤を構築するととも

ける財政指標については、実質公債費比率及び将来負担比率は前年度に比べ増加しているものの、いずれも早期健全化基準を大きく下回っていることを確認しました。

に、事務事業の取捨選択や再編を含めた不断の見直しを行うなど、持続可能な行政運営に努めていただきたい。また、町税等の収入未済額は減少傾向にあるものの、改善されない長期滞納への対応については、法的措置の検討や、税務署等との連携による悪質滞納者への対応、債権管理の先進事例の導入など、効果的な徴収体制の構築を求めます。

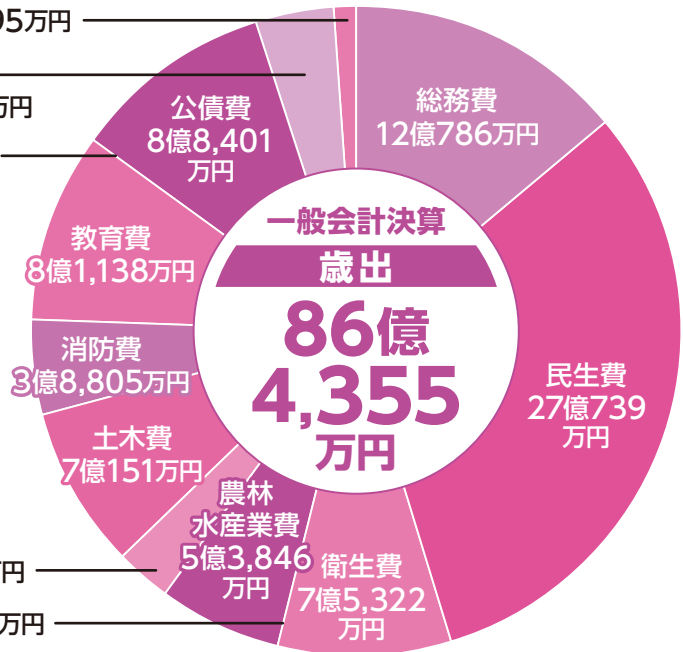
議会費 9,195万円

諸支出金 3億1,557万円

災害復旧費 0円

商工費 2億4,174万円

労働費 241万円



令和6年度石川町健全化判断比率について(報告)

区 分	早期健全化比率	令和5年度(参考)	令和4年度(参考)
①実質公債費比率(3年間平均)	6.3% (起債の許可が必要18.0%) (早期健全化基準25.0%)	6.0%	5.2%
②将来負担比率	21.9% (早期健全化基準350.0%)	8.1%	6.0%
③実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—	—
④連結実質赤字比率	黒字決算のため算定なし	—	—

*①元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率
②将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率

令和6年度石川町資金不足比率について(報告)

区 分	資金不足比率
水道事業会計	資金不足がないため算定なし
宅地造成事業特別会計	資金不足がないため算定なし

を求めます。不納欠損処理は最大限の徴収努力を尽くした上で、法令に基づき慎重に行うよう求めます。

水道事業会計については、有収水量は増加し有収率も目標を達成しているが、老朽管の布設替えや浄水施設の維持管理など、耐用年数基準を考慮してください。日頃より、緊急対応に備えた管理体制を構築し、適切な事業推進と予算を確保すべきです。今後予定されている大規模な浄水施設の改修においては、具体的かつ長期的視点を見込んだ経営戦略を早急に策定されるようお願いいたします。

議案 審議結果

全会一致で認定・可決・同意された議案

議案番号	議案名
議案第48号	石川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
議案第49号	石川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
議案第50号	石川町税特別措置条例の一部を改正する条例
議案第51号	石川町火入れに関する条例の一部を改正する条例
議案第53号	令和6年度石川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第54号	令和6年度石川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第55号	令和6年度石川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第56号	令和6年度石川町母畑財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第57号	令和6年度石川町中谷財産区特別会計歳入歳出決算認定について
議案第58号	令和6年度石川町土地開発事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第59号	令和6年度石川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第60号	令和6年度石川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
議案第61号	令和7年度石川町一般会計補正予算（第3号）
議案第62号	令和7年度石川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第63号	令和7年度石川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
議案第64号	令和7年度石川町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第66号	石川町指定金融機関の指定について
議案第67号	石川町教育委員会委員の任命について

町住宅使用料不納
欠損金に反対討論

賛否の討論

○議案第52号

令和6年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について

【反対】町営住宅使用料不納欠損金の処分に

対し、適正な回収努力や事務処理の経過について審査したが、滞納家賃等の未収金は時効までに入居取消や明け渡し請求が1件もされておらず、公平性の観点からも事務処理が不適切であるため、不認定と考えます。

（乾 初美）

水道事業会計補正予算に修正動議が提出される

議案第65号令和7年度石川町水道事業会計補正予算（第1号）母畑浄水場改修予定地登記業務委託料について、

購入済みの未登記土地に関する登記費用の計上については、事業内容や経過説明が不十分である。加えて、想定される費用が予算計上

賛否の討論

【修正案の趣旨】町が

根本重泰議員と迎茂城議員から、当該歳出予算を除く修正動議が提出され、賛成多数により可決。修正部分を除く部分が原案のとおり可決されました。

（根本重泰）

【原案に賛成】老朽管

見直しなど課題が山積する中、登記を進めて不安要素を解消し、浄水場改修事業を円滑に進めることが重要と考えます。一日も早く安全安心な水を町民の皆様へ供給するために改修事業を軌道に乗せることが必要と考え、原案に賛成します。

（菊池美知男）

【修正案に賛成】水道

事業は町民の生活に直結する重要なインフラであり、現在様々な課題に直面しています。執行部と連携し迅速に対応すべきと考える一方、業務委託の予算は、改めて十分な議論を経て予算化すべきと判断し、修正に賛成します。

（迎 茂城）

賛否の分かれた議案

○ 賛成 × 反対 — 議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	迎茂城	水野合子	星恵子	金沢和則	鈴木義延	角田保寿	菊池美知男	根本重泰	瀬谷寿一	小本芳郎	瀬谷京子	乾初美	近内雅洋	審議結果
議案第52号	令和6年度石川町一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	—	原案可決（賛9、反3）
議案第65号	令和7年度石川町水道事業会計補正予算（第1号） 議員提出修正案 母畑浄水場改修予定地登記業務委託に関する歳出予算削除	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	修正案可決（賛7、反6）
	修正部分を除く原案	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	修正可決（賛11、反1）

令和7年7月臨時会 議案・陳情 審議結果

令和7年7月22日に開催された令和7年7月臨時会の審議結果をお知らせします。

議案番号	議案名	審議結果
議案第45号	令和7年度石川町一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第46号	石川町避難所用スポットクーラー購入契約の締結について	可決
議案第47号	石川町道の駅整備建築・外構工事請負契約の締結について	可決
陳情第3号	国に対し「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」提出についての陳情（継続審査分）	趣旨採択
陳情第4号	国に対し「女性差別撤廃条約選択議定書のすみやかな批准を求める意見書」提出についての陳情（継続審査分）	趣旨採択



一般質問 町政をたずねます

一般質問は、町政全般にわたって町の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。今回は7名が登壇して町の考えを尋ね、52名の傍聴者がありました。

※紙面の都合上、質問と答弁を要約してお知らせします。（質問の一部を割愛しています。）
詳細については、各議員のタイトルの横の二次元コードを読み込むと、録画映像によりご覧いただけます。

菊池美知男 議員

P5

- ◆農業の振興について
- ◆消防・防災対策の充実について



乾 初美 議員

P6

- ◆文教福祉複合施設（モトガッコ）の利用状況と今後の在り方の再検討について
- ◆「不登校」及び「不登校傾向」の児童生徒に対する町の取り組みについて



星 恵子 議員

P7

- ◆「第1期石川町こども計画」の実効化に向けた取り組みについて
- ◆石川町の魅力化や知名度アップに向けた取り組みについて
- ◆本町の環境整備と環境保全について



瀬谷 寿一 議員

P8

- ◆井戸給水施設等整備事業の見直しについて
- ◆森林を巡る諸問題について



迎 茂城 議員

P9

- ◆厳しい酪農・畜産業経営の支援対策について
- ◆企業版ふるさと納税の活用について



鈴木 義延 議員

P10

- ◆石川サイクルフェス2025について
- ◆通学路の安全対策について



小木 芳郎 議員

P11

- ◆水道水の水質悪化について
- ◆今後の農業振興について



Q 「石川町といえば」と言われるような米等のブランド化とPRは



質問者の動画が見られます

A しっかりした品質を確保した商品を持ち、プロモーションを図るべきと考えます



きくち みちお 議員 菊池美知男

◆農業の振興について

質問 国の米の生産調整から増産への方針転換により想定される町の課題や影響は。

答弁 地域の農業経営全体のバランスを損なわないよう、主食用米の増産と飼料用作物の確保の両立を図るため、国・県の動向を注視し、関係機関と連携しながら、来年度の主食用米の生産推進の在り方を総合的に検討してまいります。



営農の省力化(ロボット草刈り機)

討してまいります。

質問 県が整備したRTK基地局(福島県高精度測位システム)を積極活用するための考えは。

答弁 県と連携し、実演・体験会や導入効果の見える化、技術サポートの強化を行い、必要に応じてシステム使用料の助成や導入初期費用の負担軽減策を検討していくほか、圃場条件や作目、経営規模に応じた活用モデルを提示し、営農の省力化・高精度化、収量・

品質の安定につながるRTK基地局の活用を推進します。

意見 農業振興に対する課題が多くある中で、最終的には儲かる農業を推進して行けば、様々な課題解決に結びつき、第一次産業の農業が儲ければ、それ以外の産業も潤い、町全体が豊かになると考える。

◆消防・防災対策の充実について

質問 スフィア基準に基づいた場合の、本町避難所における達成状況は。

答弁 指定一般避難所をスフィア基準に照らすと、必ずしも基準を満たしていない状況です。今後、石川町地域防災計画で指定する避難施設で、スフィア基準の趣旨を反映させた計画の見直しを実施し、

町民の安全と尊厳の確保に努めます。

質問 消防力強化や組織再編の考えは。

答弁 消防団員へのアンケートで出た意見をもとに、機別消防団員制度の導入などについて、町と消防団とにおいて検討してまいります。

質問 町防災訓練の実施状況と課題は。

答弁 昨年10月に大規模地震を想定し、防災訓練を実施しました。災害時における自助・共助・公助に基づく連携体制を確認、消防活動への理解促進と防災意識の向上を図りました。一方で、事前の周知が充分でなく、課題や意見が寄せられており、今後ハザードワークシヨップ等の事業を通じて、防災意識の底上げに取り組めます。

Q

キッチンスタジオ利用を、複数団体や地域住民が時間単位や利用日を分けるなど、今以上にシェアできる制度にしては



質問者の動画が見られます

A 営業許可や運営基準などについて、関係機関と協議を行っていきます



いぬい はつみ
乾 初美 議員

◆文教福祉複合施設（モトガッコ）の今後の在り方の再検討について

質問 町民全体の平等性を確保するためにも、減免基準の明確化、統一化を図る必要がある。減免の適用を判断するための統一的な基準や指針を改めて定める考えは。

答弁 分かりやすい表現を検討し、皆さんに公開できるよう考えていきます。

意見 行政は制度の壁を突破し、できないではなくどうしたらでき

るかという視点で、課題解決に取り組んでいかなければならない。

◆「不登校」及び「不登校傾向」の児童生徒に対する町の取り組みについて

質問 スペシャルサポートルームについて、利用申請から入室許可が出るまでの期間が。

答弁 申出がありまして、次の日から入ることが出来ます。

質問 女性支援員の必要性は。

答弁 今年度は男性支援員2人で対応しています。女子生徒の利用もあるため、女性支援員も必要と考えています。

質問 支援体制について、スクールソーシャルワーカー、学校、カウンセラー、養護教諭、



学びの多様化学校(棚倉中学校分教室)

担任や生徒指導主事の連携は十分取れているようだが、保護者は入っていないのか。

答弁 特に保護者の方は入っていませんが、学校では、担任を通しての電話連絡や家庭訪問等を行っており、保護者との連携を図っています。

質問 支援の目的、ゴールを町はどのように捉えているか。

答弁 まずは、自分の足で家から出て、週1日でも通えるようにす

ることです。また、学びの保障、教育相談、進路相談の充実も必要です。何より子どもの将来の幸せを目指すこと、そのために居場所をつくっていききたいと考えています。

意見 旧野木沢小学校を学びの多様化学校などの不登校支援が行えるような施設として活用するなど、ヒアリングとニーズ調査を行い、様々な選択肢をもって支援の在り方を探っていく必要がある。



質問者の動画が見られます

Q 行政区に加入していない世帯はどのくらいか

A 3割ほどが未加入の状態にあります



ほし けい こ 議員
星 恵子

◆「第1期石川町こども計画」の実効化に向けた取り組みについて

【質問】 子どもの権利条例の見通しは。

【答弁】 令和11年度末までの制定を目指します。

【質問】 CAPのワークショップを来年度も教育課程に位置付けては。

【答弁】 学校と話し合い



6月策定の「第1期石川町こども計画」

町民の連帯や調和を深め、地元愛の醸成にも寄与するため、歌いづらいかなければならぬと考えます。

たいと考えています。

【質問】 こどもの意見表明会議については。

【答弁】 こども意見ファシリテーターを活用し、こどもの主体性を尊重した運営を図ります。

【質問】 5月実施の「中学生議会」の感想は。

【答弁】 中学生にとって非常にいい機会だったと思います。

◆石川町の魅力化や知名度アップに向けた取り組みについて

【質問】 「石川町民の歌」の扱いは。

【答弁】 町民の連帯や調和を深め、

【質問】 知名度アップに向けた取り組みは。

【答弁】 町ホームページや公式LINEによる情報発信のほか、合併70周年を迎えるにあたり、渋谷駅前における大型スクリーン広告や、鉄道車両広告のほか、羽田空港での観光イベントなどを実施しました。

【意見】 観光面の変化や地域理解に応じたスピーディーさがほしい。

◆本町の環境整備と環境保全について

【質問】 旧町内の老朽化した歩道の整備は。



クリスタルパークにある看板

【答弁】 県からは、順次アスファルト舗装に切り替えたいと回答を得ています。

【質問】 ペットの飼い方や野良猫等への餌やり問題の共通理解・啓発が重要ではないか。

【答弁】 飼い主の守るべきマナーやルール等を継続的に啓発していきます。

【質問】 環境の美化や保全の対策は。

【答弁】 行政区や各種団体との連携協力のもと進めております。

【質問】 駅前駐車場に長期放置された自動車があるが。

【答弁】 所有権の問題もあり、顧問弁護士と協議して撤去を進めていきます。

Q 井戸給水施設整備事業の見直しは、いつ行うのか



質問者の動画が見られます

A 事業創設の趣旨を鑑み、補助金額の見直しの作業を進めます



瀬谷 寿一 議員

◆井戸給水施設等整備事業の見直しについて

【質問】 経済的に弱く、古い井戸を使用している住民の調査を行い、何らかの支援を行なうてほしい。

【答弁】 未給水区域における、飲用井戸の実態把握調査を行い、検討を進めます。

◆森林を巡る諸問題について

【質問】 山林原野の町外所有者の状況について。
【答弁】 町外の納税者の割合は7・4%。面積は約535ヘクタール



バイオ発電用木材を搬出する現場（中田高柴地内）

を内部で検討したいと思います。

【質問】 共有地等の未登記問題について、所有者不明地の解決策は。

【答弁】 相続登記義務化の徹底と、共有林等は「認可地縁団体制度」や「共有者不確知森林制度」の活用などを案内していきます。

【質問】 広葉樹再生事業を、毎年度1箇所（5ヘクタール）しか行っていないが、県への要望が足りないのでは。

【答弁】 令和10年度までの計画は出していますが、県の予算の関係上、複数箇所分の事業採択

は難しい状況です。

【意見】 共有地でも総会で決議すれば代表者で申請できるとのことだが、年に3つぐらいの共有地所有者が手をあげられるような方法を検討願う。

【質問】 森林環境対策に有効とされるJークレジットの取り組み状況は。

【答弁】 Jークレジットの課題や条件を整理し、町の地球温暖化防止実行計画において、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを推進します。

【意見】 Jークレジットが有効であれば、まず一歩踏み出してほしい声をかければ500ヘクタール程度を纏めることは可能。勉強会など考えてほしい。

※1 認可地縁団体制度：自治会や町内会など地域住民による任意の団体が、市町村長の認可を受けることで法人格を取得し、不動産登記や契約行為などを可能にする制度。
※2 共有者不確知森林制度：森林の所有者が一部不明で全員の合意が得られない場合に、一定の手続きにより伐採や造林ができるようにする制度。
※3 Jークレジット：適切な森林管理によるCO₂の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。



質問者の動画が見られます

Q 酪農・畜産業の持続可能な経営支援を

A 畜産経営継続支援事業を実施します



厳しい経営が続く酪農業



むかえ しげき 迎 茂城 議員

◆厳しい酪農・畜産業経営の支援対策について

質問 飼料高騰対策は。
答弁 令和4年度以降、飼料高騰緊急対策事業を4回にわたり実施し、

合計3千125万5千円の助成を行いました。本年度も畜産経営継続支援事業を実施します。

質問 経営安定化対策は。

答弁 県や関係機関と連携を図りながら、国の支援制度等を確実に活用いただけるよう周知徹底に加え、申請手続の伴走支援を着実に進めていきます。

質問 自給飼料の生産拡大は。

答弁 ※コントラクターの導入・活用の促進について、関係機関と連携しながら具体的な方策の検討を進めます。

質問 労働負担の軽減については。
答弁 酪農経営者が相互協力により休日をつくり、酪

農経営の安定的発展に寄与することを目的に、酪農ヘルパー推進事業を実施しています。

◆企業版ふるさと納税の活用について

質問 制度の認知向上とPR戦略について。

答弁 今年9月から、企業からオンラインで寄附を受け付ける専用ポータルサイトの運用を開始します。

今後は、町が解決すべき地域課題を明確化し、その解決に資するプロジェクトの価値を分かりやすく示しながら、制度の認知向上と活用促進を図ります。

質問 寄附を活用した事業拡大について。

答弁 令和4年度の募集開始から令和6年度末までに、6社から総額450万円の寄附を頂戴しており、観光物



サクライズ運営などに活かされている

産振興事業委託など、町の活力創出や定住促進に資する各種事業に充当しています。

質問 寄附企業との連携強化について。

答弁 寄附を契機に持続可能なパートナーシップを形成し、定期的な情報交換や成果の共有を通じて相互理解を深めるとともに、それぞれの強みや目指す地域の将来像を共有しながら、地域課題の解決と地域活力の再生につなげていきます。

Q サイクルフェス立哨員の処遇改善は



質問者の動画が見られます

A 謝礼金が20年以上据え置かれていることを踏まえ、見直しの検討を進めます



鈴木 義延 議員

◆石川サイクルフェス2025について

質問 大会運営の総括について。

答弁 7月の開催は猛暑で運営困難と判断し、6月上旬の2日間としました。合計383名が出走し、2日間で1000名を超える選手、観客、関係者が来場しました。

質問 現コースの山橋地区、浅川町（山白石地区）以外での変更実施について。

答弁 コースの高評価と、運営側のノウハウの蓄積による安全な



山橋地区と浅川町で開催のサイクルフェス

レース運営の観点から、来年度以降も現行コースでの開催を予定しています。

質問 コースの道路補修、環境整備について。

答弁 公道での開催であり、選手の安全を最優先に、路面の補修、危険箇所の草刈り等を実施しています。

質問 スポーツ宿泊補助金の利用状況について。

答弁 県外からのサイクルフェス競技参加者

も対象となりますが利用実績はなかったため、来年度は積極的に周知・PRを行います。

◆通学路の安全対策について

質問 通学路危険箇所の把握状況について。

答弁 関係機関が連携して、学校安全マップや地域住民等からの情報をもとに、交通量、路面状況、防犯上の懸念などを確認し、必要に応じてカラー舗装、路面標示、防犯灯の設置など適切な対策を随時講じています。

質問 教育委員会、学校、児童生徒、PTAにおける情報共有化について。

答弁 「石川町通学路交通安全プログラム」を町ホームページに掲載し情報提供。学校で

は、学校安全マップや「子ども110当番の家」を、児童生徒や保護者に周知。また、交通安全教室により安全意識の啓発を行っています。

質問 石川小・中学校前の朝の通学の現状について。

答弁 通学する児童生徒や保護者の送迎車両等で混雑することから、保護者に送迎ルートの統一の協力を得るなど混雑の緩和と安全の確保を図っています。また、ゾーン30の設定など、交通規制による安全確保にも務めています。



通学の様子(石川小学校前)

Q 水質に変化が生じた要因は



質問者の動画が見られます

A 異常気象（温暖化）により大量の藻類が流入し、浄水処理に支障が出たため



おぎ よしろう 議員
小木 芳郎

◆水道水の水質悪化について

質問 水質検査結果と、管理体制や情報公開の在り方について。

答弁 毎年水質検査計画を策定し、水道法の基準に定めのない項目を含めた水質検査を実施すること、安全な水道水を供給します。結果は、町ホームページで公開しています。

質問 臭気物質の除去や取水場所の変更と、今後の浄水処理対策について。

答弁 令和5年の夏場以降に、原水水質の悪

化が確認されました。将来にわたり安定した浄水処理を行うため、これまでの事業計画を一時中断し、新たな浄水処理方式の調査・検討を行い、実証実験を実施しています。

質問 安定的な浄水処理を行うためには。

答弁 調査の結果、「移動床砂ろ過方式」が藻類除去に適しているという結果から、実証実験を実施しています。

質問 給水区域内における布設計画は。



改修事業が一時中断された浄水場

答弁 令和3年9月に、地域からの要望により一部地域が給水区域に加わりました。浄水場改修事業の見通しや石綿セメント管・老朽管の更新、水道料金の引上げ試算なども反映して経営戦略の改定を図り、整備方針を定めていきます。

◆今後の農業振興について

質問 主食米の増産にむけた本町の担い手育成や支援策について。

答弁 国・県の動向を注視し、関係機関と連携して新規就農者を支援していきます。

質問 農業支援員の農家への訪問や指導実績について。

答弁 令和4年4月から認定農業者や認定新規就農者、集落営農組織など地域農業の担い



地域の基幹産業である農業

手を中心に戸別訪問による営農指導・相談を行っています。今後も農業専門員を配置し、地域の担い手の力を高め地域農業の維持・発展につなげます。

要望 本年度の新米価格の高騰が見込まれる中、地域の基幹産業である農業を守るためには、農業従事者の経営基盤をしっかりと支えしていくことが重要。関係機関との連携を一層強化し、安定した農業経営の確立に向けて万全の対策を講じていただきたい。

あれからどうなった？

一般質問のその後は

令和6年9月
定例会より災害に強い
町づくりを目指して

～防災士の育成について～

防災士は、1995年に発生した阪神・淡路大震災を教訓に、災害発生時の初期消火や避難誘導など、地域防災力の向上を担うリーダーの養成を目的に誕生しました。

町では、災害に強いまちづくりに資することを目的として、防災士の資格を取得する方に対し、「石川町防災士資格取得助成金交付事業」を実施しています。

町では、災害に強いまちづくりに資することを目的として、防災士の資格を取得する方に対し、「石川町防災



【交付対象経費】

- ① 防災士研修講座受講料
- ② 講座の受講に必要な教本の購入費
- ③ 防災士機構が実施する防災士資格取得試験の受講料
- ④ 防災士機構の防災士認証登録料
- ⑤ 条例及び規則により算出される、受講に係る交通費及び宿泊料

【助成金の額】

上記対象経費の合計額とし、10万円を限度とする。

高齢者のタクシー・
温泉施設利用券、
今年4月から共通に！

高齢者いきいき活動助成事業として、令和2年度からタクシー利用、令和3年度から温泉施設利用の助成がスタートしました。

令和6年度の事業全体の申請率は42%でした。タクシー利用の助成率は34%で横ばい、温泉施設利用の助成率は10%と、利用が伸びています。

石川町の温泉は、全国的にも珍しいラジウム温泉です。神経痛や高血圧、免

石川町の温泉は、全国的にも珍しいラジウム温泉です。神経痛や高血圧、免



温泉施設での利用範囲が拡大

委員会の構成 が決まりました

常任委員、議会運営委員の任期満了（2年）に伴い、9月定例会において、各委員の選任が行われました。

また、9月17日に開催された委員会において、正副委員長の互選が行われ、新体制による委員会活動がスタートしました。

文教厚生常任委員会



委員長 小木 芳郎
副委員長 星 恵子
委員 金沢 和則
委員 菊池 美知男
委員 瀬谷 京子
委員 乾 初美

◇ 町民課、防災環境課、保健福祉課、教育課、生涯学習課等に関する事務について、審査及び調査します。

総務産業建設常任委員会



委員長 根本 重泰
副委員長 迎 茂城
委員 水野 谷常子
委員 鈴木 義延
委員 角田 保寿
委員 瀬谷 寿一
委員 近内 雅洋

◇ 総務課、企画商工課、税務課、農政課、都市建設課、議会事務局、監査事務局、農業委員会、水道事業所等に関する事務並びに他の委員会に属さない事務について、審査及び調査します。

議会運営委員会



委員長 瀬谷 寿一
副委員長 鈴木 義延
委員 星 恵子
委員 菊池 美知男
委員 乾 初美

◇ 議会の運営、議会会議規則や委員会条例等及び議長の諮問に関する調査を行います。

広報常任委員会



委員長 瀬谷 京子
副委員長 菊池 美知男
委員 迎 茂城
委員 水野 谷常子
委員 星 恵子
委員 鈴木 義延

◇ 石川町議会の審議結果や議会の活動などを住民に周知するために「石川町議会だより」を編集及び発行します。

石川地方生活環境施設組合 (一部事務組合) 議会の欠員議員 に星恵子議員を補充選出

行政の能率・効率化を図るため、特定の事務を関係市町村で共同処理するために設ける地方公共団体の組合を一部事務組合と言います。この組合は、これらを構成する地方公共団体とは別個の法人格を有する特別地方公共団体であり、議会が必要とされます。

石川地方生活環境施設組合議会には、石川町から5人の議員が選出されていますが、議員の辞職により1人欠員が生じたことから、9月定例会において、星恵子議員が補充選出されました。

石川地方生活環境施設組合議会議員 (石川町から5人)

- 議員／水野谷常子
- 議員／鈴木 義延
- 議員／瀬谷 寿一
- 議員／星 恵子
- 議員／菊池美知男

※石川町、浅川町、古殿町、平田村、玉川村から選出された17人の議員で構成されています。



報告します 議会の活動

令和7年度議長会視察研修(7月2日～4日)

石川地方町村議会議長(5名)で、7月2日に北海道石狩市を訪問し、「議会改革」と「こども未来館あいぽーと」について視察研修を行いました。石狩市議会ではペーパーレス化とICT活用が進み、業務効率化や議員の意識向上が図られています。導入初期は賛否が分かれたものの、とりあえず資料のペーパーレス化からスタートしようという考えに統一できたことが大きな一歩となったとのことで、「とりあえず始めること」の大切さを実感しました。

石川町でもタブレット端末を導入しており、今後さらに活用を進めたいと考えています。

また、「こども未来館あいぽーと」は、児童館や放課後施設の代替として設置され、子どもが主体的に活動できる場を提供しています。住民や保護者を含め地域全体と一緒に子どもを育てるという姿勢が印象的でした。

町村議会正副議長・ 事務局長研修会(8月18日)



令和7年度町村議会正副議長・事務局長研修会が開催され、近内議長、乾副議長及び事務局長が出席し、「議会改革・活性化の方策について」「政治情勢と今後の政治・政局動向について」の講演などの研修を受けました。

議員勉強会(8月26日)

福島県主催の自治体DX推進トップマネジメントセミナーに、オンラインで参加しました。

前金沢市長 山野之義氏から「自治体DX推進に向けて大切なこと」についての講演があり、先進事例の紹介などがされました。



未来に向かつて

高校生の声

県立石川支援学校

3年 齋藤 永遠 さいとう とわ

全国障害者 スポーツ大会に向けて



習では、フォアやバック、ランダムなどとてもつらい練習ですが、

あきらめずに頑張っています。
学校の練習では、先生のご指導のもと、打つ時に足も一緒に動かすことを意識しながら練習しています。初めての全国スポーツ大会ですが、指導してくださった先生方や応援してくださっている皆さんに感謝しながら悔いのない試合をしてきたいと思っています。

私は10月に滋賀県で行われる第二十四回全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く卓球スポ2025」の卓球競技に福島県代表として出場します。そこでの目標は優勝することです。そのためにクラブチームや学校での練習を頑張っています。クラブチームでの練



卓球大会に出場する齋藤さん

編集後記

広報常任委員会も新体制となりました。
新たなメンバーで、皆様に、より親しまれ、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。
よろしく願っています。
瀬谷京子

議会を 傍聴しませんか

12月定例会「一般質問」は
12月8日(月)の予定です。

議会インターネット中継

町議会では、本会議のライブ映像及び録画映像を配信しています。町ホームページを經由してYouTubeで視聴することができますので、ぜひご覧ください。ホームページへはこちらの二次元コードからアクセスできます。



広報 常任委員会

委員長	委員	委員	委員	委員	委員
瀬谷 京子	菊池 美知男	迎 茂城	水野 谷常子	星 恵子	鈴木 義延

